
銀の墮天使

NEO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

銀の墮天使

【Nコード】

N2515C

【作者名】

NEO

【あらすじ】

ある日宮部は、クラスメートの水神を痴漢から助けようとするが痴漢はなんと地術師と、方術師だった。絶体絶命のピンチのとき二人の前に一人の男が・・・

動き出した歯車

普段と変わらない下校途中。

人ごみの中を進んでいく。

その中に、自分と同じ制服を着ている女性を見つける。

「水神 みかみ か」

彼女は、そのまま裏路地に入っていく。自分も、その後ろを追いかける。

彼女に、追いついたとき彼女は二人の男に囲まれていた。

「嬢ちゃん、俺たちについてきてくれないか。」

どうやらナンパされているようだ。しかし、水神は意外な言葉を返した。

「貴様ら、冗談はよせ。」

「何を言って」

しかし、それは彼の顔を狙った水によって阻まれる。

そこへ、宮部 みやべ がケータイを片手に割り込む。

「そこのお二人さん。ナンパはいけませよ。立派なはん！」

しかし、最後までしゃべることができなかった。そう、彼の顔をめかけて伸びる土の柱によって。

「なあ。」

とっさに避けようとしたため、ぬれた地面ですっべてしまった。

「ばか、早く逃げる。こいつらは痴漢じゃない。」

「少し力を使う必要が出てきた。結界を張ってくれ。」

「承知。」

それに答えた男は、四方に札を投げた。そして、印を結ぶ。

「は。」

気合の入った声とともに、世界の色が変わる

「なんだよ。何なんだよこいつら。」

「宮部には、手を出すな。」

水神が言い放つ。

「おいおい、俺らには危害加えておいてそれはないだろ。それと、今一番危ないのはお前だぞ。」

刹那、彼女の周りの地面より数本の棘が襲い掛かり阻まれる。彼女の纏った水によって。

「本当に現実なのか。」

腰を抜かしたまま座っている宮部に一人の男が自動拳銃の初弾を装填しながら近づいてくる。そして銃を突きつけて言う。

「二人とも動くな。」

水神の動きが止まる。

「ナイス。・・・二人ともそこに立て。」

一箇所を指定し二人がそこに来る。

「封術用だ。これを使え」

「オーケー。」

二人に札を貼るため一人が近づいてくる。そして貼ろうとするが、果たすことはできなかった。

空から来た、何者かによって。

「ぐぶう。」

何が起こったのか理解できた者はいなかった。ただ言える事は、さつきまで札を貼ろうとしていた者が気を失って倒れている。ただそれだけ。

「何もんだ、貴様」

同時に5発の銃弾が打ち込まれた、男を殺すため。

「なに？」

「おまえごときに、この俺を倒すことなどできないよ。」

それは、明らかに奇怪な光景。銃弾が男の前で静止している。

「貴様、魔術師か。」

「おまえのものだ返そう。」

そう言い放つと、銃を構えていた男が地面に崩れ落ちる。静止していた銃弾で四肢の関節を打ち抜かれたようだ。

魔術師は男に歩み寄る。

「おまえたちのクライアントは誰だ」

「そんな事、言えるう、うう、うあああああー」

「しまった、口封じか！」

二人の男は、体が蛍光色に光、光の粒子となって少しずつ消えていく。それはまるで蛍が飛んでいるかのよう。

「我が、力によりて時の理よる隔絶させたまえ」

何かの呪文なのか、手あわせると同時に魔法陣が彼の下に現れる。しかし、彼は何かにはじかれた。

「くう・・・護術か」

そういつている間に二人の男は完全に消えてしまっていた。

「君たち、大丈夫？」

「は、はい。」

「そうか。じゃあ。」

そう言つて魔術師は闇に消えていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2515c/>

銀の墮天使

2010年10月28日04時13分発行